

# 旭山～大雪連峰と旭川の接点

ぷくぷく

発行元 (有) 北海道新聞 下村販売所

旭川市東旭川北1条5丁目9番8号

ホームページ <http://www.doshin-pukupuku.com/>

お問い合わせ・お申込みは…フリーダイヤル ☎ 0120-233746



旭山シリーズ 76

H27. 9. 5

見たことがあるようで、無いようで…《帰化植物》の不思議

その魅力と癒しの空間、歴史を探る シリーズ 76

自然溢れる旭山公園、その中でも春に出会える丘(旧スキー場)は、何度もご紹介した通り山野草の豊富な所ですが、人の手が加わったせいでしょうか、思いもしない山野草を発見する事がよくあります。自生している植物群の中で、どこかその場にマッチしない違和感を覚える山野草が見られるのです。「何となく」…と言う言葉でしか表せない感覚で、歩いていて「アレ…?」と五感が反応し、その反応した山野草を調べてみると「帰化植物」である場合が多くあります。今号では最近見つかった帰化植物についてお知らせしたいと思います。



## ホソバウンラン (細葉海蘭=ゴマノハグサ科)

ランと呼ばれる山野草ですが、ランの仲間ではありません。花の形や色合いから見るとランの一種に見えます。群生して咲いているため、遠くからでも目立つ存在で、あちこちの庭でよく見かけますが、実はこの山野草も帰化植物なんです。花壇で育てていたものが野生化したとも言われています。クリーム色にオレンジがかった黄色が見事にマッチしており、美味しいソフトクリームをイメージします。ヨーロッパ原産のこの花が、何故春に出会える丘で育っているのか…? 帰化植物には不思議な生育暦と、与えられたその地で生延びる智恵があるのでしょうか。

## コメツブウマゴヤシ (米粒馬肥=マメ科)

何とユニークな名前なのでしょう。呼び名から受ける感覚から、れっきとした日本の山野草だと思いきや、西アジア、ヨーロッパ原産の帰化植物だとの事です。細い柄の先端に蝶形をした黄色の花を数多く付け、綿棒のように見えます。「米粒」の名は、極小の種が20~30個入り、その粒を米粒と見立てて付けたのではないかと考えているのですが…? 馬に食べさせるとよく肥えたので「馬肥」…? 素人考えでいき着いた所がこんな解釈ですが、果たして本当のところはどうなのでしょう。江戸時代のお百姓さんが付けた名前なら理解できるのですが、外国から入ってきた帰化植物となると、そうとはならないでしょうね。春に出会える丘を登りきった道端に沢山見られます。名前の不思議さからルーペで観察した所、米粒の面白さが写っていました。



## オオイヌフグリ (大犬陰囊=ゴマノハグサ科)

春先の田んぼのあぜ道を歩いていると、よく出会う薄紫色の花です。地面を這うようにして、その先端にうす紫色の花びら4枚、紫の縦線が数本見られます。春のあぜ道ではカエルが産卵期を迎えて顔を出している時期ですが、フキノトウの横に8~10ミリほどの薄紫色は、枯れ草の中で存在感を示す山野草です。フグリは書いて字の如し…です。種の様子が似ているとの事です。この植物も帰化植物で、西アジア原産だそうで、どの様な経路を辿って日本に住み着いたのでしょうか。

## タチオランダゲンゲ (立オランダ蓮華=マメ科)

しろつめ草は皆さんご存知の通り、子供の頃花輪を編んで飾ったあの花ですが、この花は立ち姿がほとんど同じで、色も白に近いシロツメクサに見えます。通り過ぎようとしたその目線に、少し赤みがかかった花を見つけ、珍しい赤の花を発見…!と喜んで写真に収めようとした所、どうも葉の付き方違うので図鑑で調べてみました。やはり違っていました。同じマメ科ではありますが、葉の付き方が違い、又、花の色は淡紅色で帰化植物でした。シロツメクサはヨーロッパが原産地(帰化植物)であり、タチオランダゲンゲは地中海原産の山野草だそうです。



帰化植物とは…?  
(旭川の帰化植物の本から)

{人為的に外国から入ってきて野生化した植物}と定義されています。ただし、外国から入ってきた植物であっても、栽培されている植物(食用、観賞用、薬用など)は除外されるが、栽培されている植物が逸出して野生化した場合は、帰化植物とする。

## 【旭川の帰化植物】…旭川帰化植物研究会発行(舟橋 健さんからご寄贈)

旭川・北海道を代表する研究会で、この地方の植物に関して40年間調査してきた実績のある会であり、その集大成とも云うべき「旭川の帰化植物」の本を寄贈頂きました。その説明によると2014年現在「44科234種」の帰化植物を確認しているとの事であり、今後も増えていくと記載されております。貴重な現場主義に立って作成された研究誌を、私達の会としても活用させて頂きたいと思っています。ご寄贈に感謝!

### ご案内 百名花散策会

《日時》平成27年9月26日(土)  
9時30分集合

《場所》旭山動物園正面入り口売店横  
(自由参加)

8月の百名花散策会は、暑い日にもかかわらず14名の参加で楽しく終える事ができました。ゴール地点でネジバナ(ラン科)との出会いがありラッキーな日となりました。さて、今月26日はどんな出会いがあるのでしょうか、楽しみです。お友達と共に自由に参加して、自由に話したり写したり…旭山の秋を堪能しませんか。

### 旭山を活かす市民の会 問合せ先

会の全体について(理事長)  
中川 希一 (0166-36-1827)  
事務局 長  
野村 廣巳 (0166-36-3382)  
山野草関係の情報  
石井 征士 (0166-36-6667)